

ネット情報 渡部プロジェクト

台湾で8月

ネットワーク情報学部 渡部健司プロジェクトの3年次生が、初参加したCG(コンピュータグラフィックス)アニメーションコンテストの国内予選を突破、8月に台湾で開催される本選に出場

「ard」。台湾のIT企業が主催し、アジアを中心に大学や専門学校など100校以上約300チームが参加。教材としても使われている3DCGソフトを使い、与えられたお題に従って、48時間以内に作品を仕上げる。渡部健司特任教授は長年CGやVFX(視覚効果)などデジタル映像の最前線で制作に携わり、『ウルトラマン』シリーズのCGIプロデューサーなども務めた。本年度から特任教授に就任。プロジェクトでは映像制作について教え、春休み中から予選大会に向け準備してきた。学生12人は全員CG初心者。渡部特任教授は「ソフトの操作以上に、作品にどんなメッセージを込め、どうプロデュースするかが大事」



作品「未来予知」の1場面



CGアニメ国内予選を突破した大川さん、高津戸さん、木原さん(左から)と渡部特任教授

CGアニメ世界大会へ

とたたき込んだという。5月末、都内で2日間に行われた開催された予選大会には、プロジェクト生全員が4チームに分かれて参加。当日発表された映像に興味をもつようになったと笑顔を見せる。本選には各国の予選を勝ち抜いた20組が参加する。大川さんは「クソッ」と笑える作品が自分たちを苦しめた。高津戸さんは「ストリーを考えるのが一番難しかった」と振り返る。慣れない環境やプレッシャーと戦いながら仕上げた2分10秒の作品は、日本代表2本のうちの1本に選ばれた。

「入学当初はやりたかったが木原さん。だのが大会に出たことで目の前が開けた。仲間とやり遂げたことが自分の力になった。プロジェクトに入ってきたさまざまなことを教わり、コンテストで認められたことで、さらに映像に興味をもつようになったと笑顔を見せる。本選には各国の予選を勝ち抜いた20組が参加する。大川さんは「クソッ」と笑える作品が自分たちを苦しめた。高津戸さんは「ストリーを考えるのが一番難しかった」と振り返る。慣れない環境やプレッシャーと戦いながら仕上げた2分10秒の作品は、日本代表2本のうちの1本に選ばれた。

青衿祭 ライブ楽しむ



各県人会の会長らによるアトラクション

会、ロックバンド「忘れらんねえよ」によるゲストライブが行われた。約300人が来場し、会場は大いに盛り上がった。町田横太郎実行委員長(文4)は「2年次生を中心とした実行委員とともに半年間にわたって準備に取り組んできました。みんなの努力の結果、とてもいいイベントになりました。満足しています」と話した。



26サークルが成果披露 黒門祭

文化系サークルが日ご50回黒門祭が6月24日から26日まで、生田キャンパスで開かれた。三曲ヒット曲の歌詞を表現する手話研究同好会……

「Tomorrow」の歌詞を手話で表現した。岡本真夜さんの「Tomorrow」の歌詞を手話で表現した。

MOS世界学生大会 金谷さん(法4)が入賞



表彰状を持つ金谷さん

パソコンソフトの利用(賞上位20人入り)を果した。MOSはマイクロソフトが認定するパソコンの国際資格で、大会は高校生以上の学生延べ4万8千人がエントリー。同

社製のワード、エクセル、パワーポイントの3部門で正確さと速さを競う。「就職活動を控えて履歴書を書く資格がほしい」という金谷さん。3年次の12月に参考書を購入し、3部門の勉強を始めた。大学のレポートなどでエクセルとワードは使っていたが、パワーポイントは触れる機会がなかった。まったくの独学で模擬試験を繰り返し、年明けには受験。併せてMOS世界学生大会にエントリーした。パワーポイントの試験

新入生もはつらつと



笑顔でタワーを作る「BLASTS」のメンバー

チアリーダーが公開演技

野球やアメフト、アイスホッケーなどのスポーツでも2カ月でここまでできる。知っている、選手層を厚くしたい(佐野莉依菜代表・文3)とチラスを配って広く観覧を呼び掛けた。16人のメンバーは声を合わせ、笑顔ではつらつと演技を披露。新人の市村雪絵さん(ネット情報)

神田キャンパスで 防災体験イベント

地震や火災発生の際の応急処置などを学ぶ防災体験イベント(学生部主催)が6月24日、神田キャンパスで開催され、教職員や地域の方々など214人が参加した。参加者は、神田消防団や警視庁の協力により震度7の揺れや煙が充満した状態などを疑似体験、消火活動など非常時に適切に行動する方法を学んだ。

生田キャンパスで 防犯教室 実技も

不審者に遭遇した時の心構えと身を守る方法を学ぶ防犯教室が6月28日、生田キャンパスで開催された。学生、職員ら30人が参加。多摩警察署生活安全課員から防犯に関する基礎知識のほか痴漢防止のためのポイントや聞き、捕まったら腕を振りほどくなど護身術の手ほどきも受けた。



腕を振りほどく方法の実技に取り組む参加者

同教室は、女性を狙った犯罪が増加傾向にあるため、防犯意識を高めてもらうと、学生部が2013年から毎年行っている。